



ソフトウェアガイド

自動点呼用(モバイル側)

目次

目次.....	2
お使いになる前に.....	4
注意事項.....	4
e点呼セルフTypeモバイルとは.....	5
e点呼セルフでの用語について.....	5
初期設定.....	6
e点呼セルフTypeモバイルアプリを起動する.....	6
アクティベートコードを読み込む.....	7
運転者ログイン.....	8
運転者ログアウト.....	8
設定.....	8
端末設定.....	9
各種設定（アプリ設定）を行う.....	10
顔認証写真登録.....	10
同期設定.....	10
通知設定.....	11
免許証.....	11
点呼設定.....	13
複数計画時に実施の自動点呼を選択する.....	13
翌日計画した自動点呼の前日実施を許可しない.....	13
点呼前倒し時間を制限する.....	13
業務前自動点呼で行き先確認を行う.....	13
企業情報初期化.....	13
ログアウト.....	14
履歴確認を行う.....	15
点呼履歴.....	16
エラー履歴を確認する.....	16
アプリ情報を確認する.....	17
お問合せ（アプリ内メニュー）.....	17
自動点呼機能を使用する.....	18
点呼を開始する.....	18
自動点呼の流れ.....	19
GPS取得した位置情報および天気の表示.....	19
免許証確認 ※免許証確認をON設定にしている場合のみ.....	19
ドライバー生体認証（顔認証）.....	20
業務種別選択.....	20
アルコール測定.....	21
体温測定（業務前自のみ）.....	22
血圧測定（業務前のみ）.....	22
車番.....	23
疾病・疲労・睡眠不足等の確認（業務前のみ）.....	23
健康状態判定（業務前のみ）.....	24

点呼保留（業務前のみ）	26
点呼保留からの再開・中止.....	27
タイムアウトによる点呼中断・点呼中止.....	27
日常点検の状況（業務前のみ）	28
指示事項（業務前のみ）	29
自動車・道路及び運行の状況（業務後のみ）	29
交替運転手への連絡（業務後のみ）	29
その他確認事項 1	30
行き先確認（業務前自動点呼のみ/設定有効時のみ）	30
運転者点呼場所.....	31
その他確認事項 2	31
点呼完了と点呼記録データ送信.....	32
タイムアウトによる点呼中断・点呼中止.....	33
困ったときは.....	34

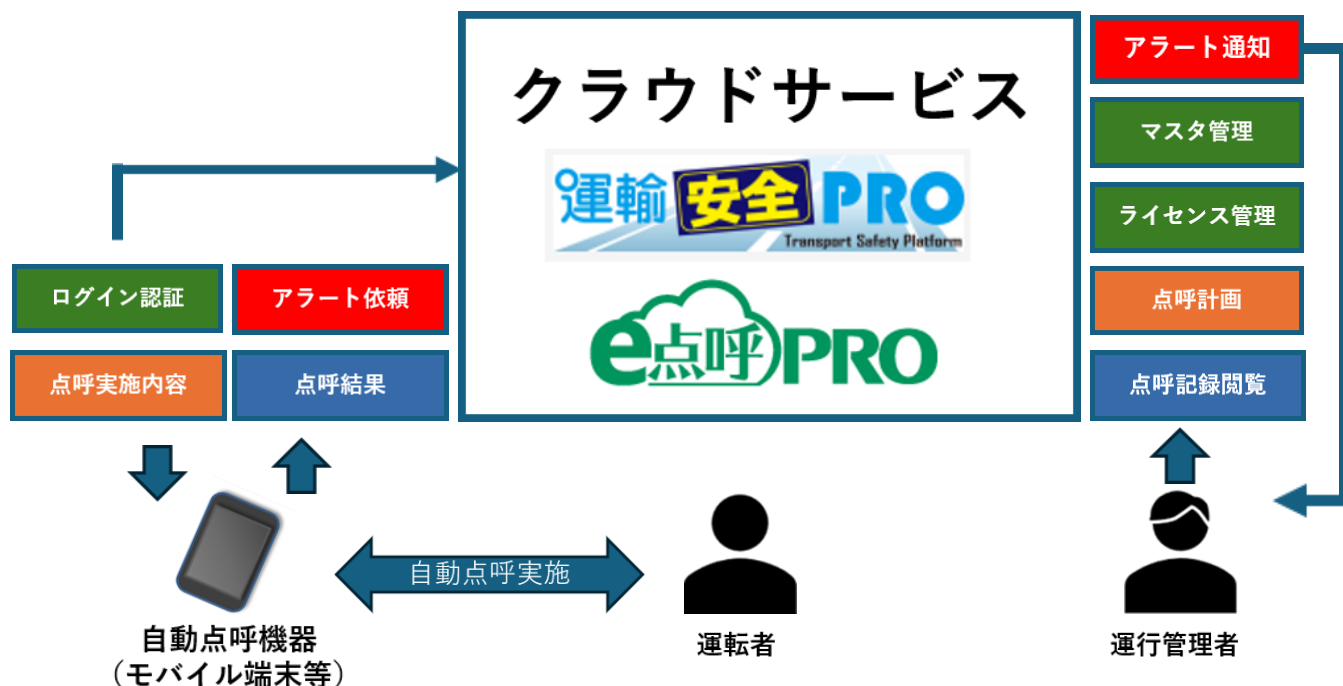
お使いになる前に

注意事項

e点呼セルフソフトTypeモバイルウェアガイド（Android対応/以下「本書」と言います）の記載内容については予告なく変更・改定する場合があります。本書の内容は著作権法によって保護されています。本書の内容の一部または全部を、東海電子株式会社に無断で複写・転載等を行うことは法律で禁じられております。画像は一部開発中のものを含みます。お使いのアプリケーションのバージョンによって、表示画面が異なることがあります。あらかじめご了承ください。

e点呼セルフTypeモバイルとは

「e点呼セルフTypeモバイル」は、運輸安全PROの点呼サービス「e点呼PRO」において自動点呼機器（モバイル端末）を用いて自動点呼を実施するためのサービスです。



点呼の実施はモバイル端末アプリを中心とした自動点呼機器にて行います。

クラウドサービスでは、マスタ情報の登録・ライセンスの管理、点呼内容と点呼計画の作成・点呼記録の閲覧を行い、自動点呼において発生した異常等のアラートを管理者へ通知します。

本書では、自動点呼機器の使用方法について説明します。

e点呼セルフでの用語について

e点呼セルフで使用する用語の定義を以下に示します。

- ・健康状態測定...業務前自動点呼における血圧測定と体温測定のこと。
- ・健康状態判定...業務前自動点呼における健康状態測定値が管理者の設定した基準値から一定以上乖離しているか否か判定すること。
- ・点呼保留...健康状態判定においてNG判定され、点呼が一時停止すること。
- ・点呼再開...点呼保留において、点呼が再開（途中から開始）されること。
- ・点呼中止...点呼保留において、点呼が中止（点呼NGとして記録保存）されること。
- ・点呼中断...実施している点呼を取りやめること。点呼記録は保存されません。
- ・モバイル自動点呼ライセンス...当アプリで自動点呼を実施するためのライセンス。従業員1名単位に付与される。このライセンス付与のない従業員は当アプリにログインすることができず、自動点呼が実施できません。

初期設定

e点呼セルフTypeモバイルアプリを起動する

モバイル端末を起動、配信ストアよりインストールしたe点呼セルフTypeモバイルアプリを起動します。
当該アプリの初回起動時は、権限許可のダイアログが表示されます。全て「許可」を選択してください。



<許可権限のダイアログ>

- ・写真と動画の撮影
- ・このデバイスの位置情報へのアクセス
- ・音声の録音

→「アプリ使用時のみ」を選択してください。

- ・付近のデバイスの検出、接続、相対位置の特定
- ・電話の発信と管理
- ・通知の送信

→「許可」を選択してください。

- ・アラームとリマインダー設定の許可

→「本体設定」をタップすると端末本体設定が開きますので、e点呼セルフTypeモバイルアプリに対して許可設定ください。



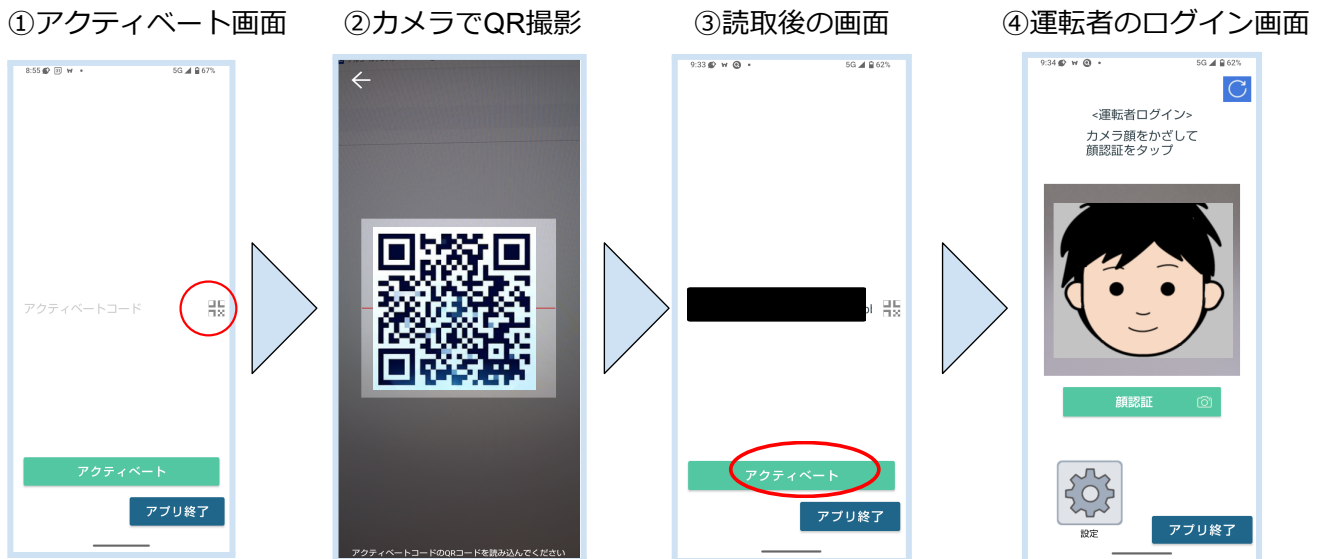
※「許可しない」を選択してしまうと、アプリが正常に動作せず自動点呼の実施ができなくなります。

※誤って「許可しない」を選択してしまった場合はスマートフォン本体の「設定」→アプリ→すべてのアプリ→e点呼セルフを選択し、権限→「許可しない」の一覧に入っている項目をタップして「許可する」を選択してください。

（こちらの設定手順はAndroidOSの特定機種になります。機種により上記設定手順は異なる場合があるため、権限設定につきましてはスマートフォン端末をご購入された販売店様へご確認ください。）

アクティベートコードを読み込む

e点呼セルフTypeモバイルアプリとクラウドサービスを連携させるためにアクティベートを行います。
アクティベート未実施の場合（または企業情報初期化をした場合）にアプリ起動直後に表示される画面で行います。



アクティベートは以下の手順で行います。

1. QRコード読み取りボタン（上図の①）を選択します。
2. カメラが起動するので、QRコード全体が写るように撮影します。
3. 運転者のログイン画面へ遷移します。

<読み取るQRコードの表示方法>

※運輸安全PROの設定→セットアップ→「接続情報」の一覧にあるアクティベートコード（拠点）の右端にある「表示する」→自動点呼を運用する営業所名の右端にある「表示する」を選択するとアクティベート用のQRコード画像が表示されます。

※読み取ったQRコードの営業所運行の自動点呼のみを実施することができます。アクティベート済のe点呼セルフTypeモバイルアプリで別営業所運行の自動点呼を実施する場合は、後述の「企業情報初期化」を実施してその営業所QRでアクティベートを行っておく必要があります。

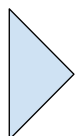
※使用するスマホ端末、アルコール検知器等の周辺デバイスは自動点呼の関連要件法令に則って自動点呼を実施する営業所で適切に管理してください。

運転者ログイン

モバイル自動点呼ライセンスを有した運転者によるログインを行います。ログイン後はログアウト操作等をして割り振られたモバイル自動点呼ライセンスが無効化しない限りは次回アプリ使用時もログイン状態は維持されます。

<顔認証>

* 顔を写して「顔認証」をタップします。



<ログイン成功時>

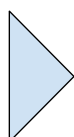


<ログイン失敗時>



<手動認証>

登録設定済の従業員番号とパスワードを入力してログイン認証を行うことも可能です。



モバイル自動点呼のライセンスを有していない運転者は「ライセンスがありません」エラーでログインができず、自動点呼を実施することができません。先にモバイル自動点呼のライセンス付与を実施し、ログインユーザーの顔認証用写真を登録しておく必要があります。

※モバイル自動点呼のライセンス付与方法につきましては別紙取扱説明（e点呼セルフType□ボケビー Type モバイル ソフトウェアガイド（運輸安全PRO側））を参照ください。

運転者ログアウト

ログイン後は設定よりログアウトすることができます。ログアウト時にはそれまでの点呼履歴、故障履歴、操作履歴のCSVファイルを運輸安全PRO上へ出力しますが、アプリ内の履歴情報は全て消えてしまいますのでご注意ください。

※血圧計や体温計のペアリング設定情報は、ログアウト後も保持されます。

設定

運転者ログインを行う前から、アプリの設定変更や顔認証用の写真登録を実施することができます。

各項目の詳細は後述の「各種設定（アプリ設定）を行う」を参照ください。

※設定は運転者ログイン後も変更することができます。

端末設定

接続する体温計、血圧計のBluetooth接続設定を行います。

ログイン後のアプリ内メニューの「端末設定」から設定ができます。

※アルコール検知器ALC-MobileⅢについては、Bluetoothフリー接続のため接続設定はありません。



■血圧計

自動点呼機器で使用する血圧計のBluetooth接続設定を行います。

「Bluetooth設定」を選択し、記載の操作方法にしたがって接続機器側の操作を行い、「Bluetooth接続」を選択して該当血圧計デバイス名を選択してペアリングを実施してください。

接続に成功すると、端末設定画面の血圧計設定欄に「デバイス名」が表示された状態となります。

＜対応機種＞

- ・ HCM-AS01BT

※HCMシリーズをご利用の際は、ユーザー 1 でペアリングおよび測定を実施してください。

○ペアリングの対象は以下の通りです。

- ・ 「HCM-AS01BT」の場合：デバイス名「HCM」を含むもの。

■体温計

自動点呼機器で使用する体温計のBluetooth接続設定を行います。

「Bluetooth設定」を選択し、記載の操作方法にしたがって接続機器側の操作を行い、「Bluetooth接続」を選択して該当体温計デバイス名を選択してペアリングを実施してください。

接続に成功すると、端末設定画面の体温計設定欄に「デバイス名」が表示された状態となります。

＜対応機種＞

- ・ 東海電子 非接触体温計 TD-100

○体温計ペアリング対象と表示されるデバイス名は以下の通りです。

- ・ 「東海電子 非接触体温計 TD-100」の場合：デバイス名「Dual-SPP」

接続設定後、テスト測定をタップすることでそのままテスト測定を実施できます。

■テスト測定

血圧計、体温計とそれぞれBluetooth接続設定が完了しましたら、その場で必ず「テスト測定」を選択して測定結果がアプリ側に送られてくるかを確認してください。

※デバイス名が表示されているにも係らず、テスト測定で測定結果がアプリ側に反映されない場合はスマートフォン本体をいちど再起動すると改善する可能性があります。

各種設定（アプリ設定）を行う

顔認証用の写真登録、通知設定、免許確認の有無、運輸安全PROとの同期設定、点呼設定等を行うことができます。

顔認証写真登録

アプリログインや点呼開始時等の顔認証で用いる顔写真の登録ができます。

ここではクラウドサービス運輸安全PROへの登録を行います。画面の指示に従って、顔写真を登録・更新してください。

<登録手順>

- ①「設定」より「顔認証写真登録」を選択。
- ②アクティベートした営業所の運輸安全PROに登録済でこれから顔認証写真を登録する従業員番号を入力。
- ③カメラが起動するので、顔をアップで写して「撮影」をタップ。
- ④「こちらの写真で登録してよろしいですか」の確認で、上部に従業員番号と氏名が表示されているので撮影者と相違ないか確認し、問題なければ「はい」をタップ。

※逆光や写っている顔部分が小さい場合、マスクをしている場合等はうまく顔認証できないため撮影の際はご注意ください。

※他システムも含め直近に撮影した3枚までの写真が顔認証写真として運輸安全PRO上に保存されます。

※既に運輸安全PRO上に顔認証写真の登録がある場合は、モバイル自動点呼実施時もそれらを認証元写真として用いることができます。

同期設定

e点呼セルフTypeモバイルアプリの「免許証」「点呼設定」について、運輸安全PRO側の設定より一括で同期管理することができます。同期により、同期設定を有効にしているスマートフォン端末全てに同じ設定を一括操作で反映することができます。

●自動（アプリ起動時）

アプリ終了でアプリを閉じた状態からアプリを起動した場合に、運輸安全PRO側の設定が上書きされます。

●手動で同期する

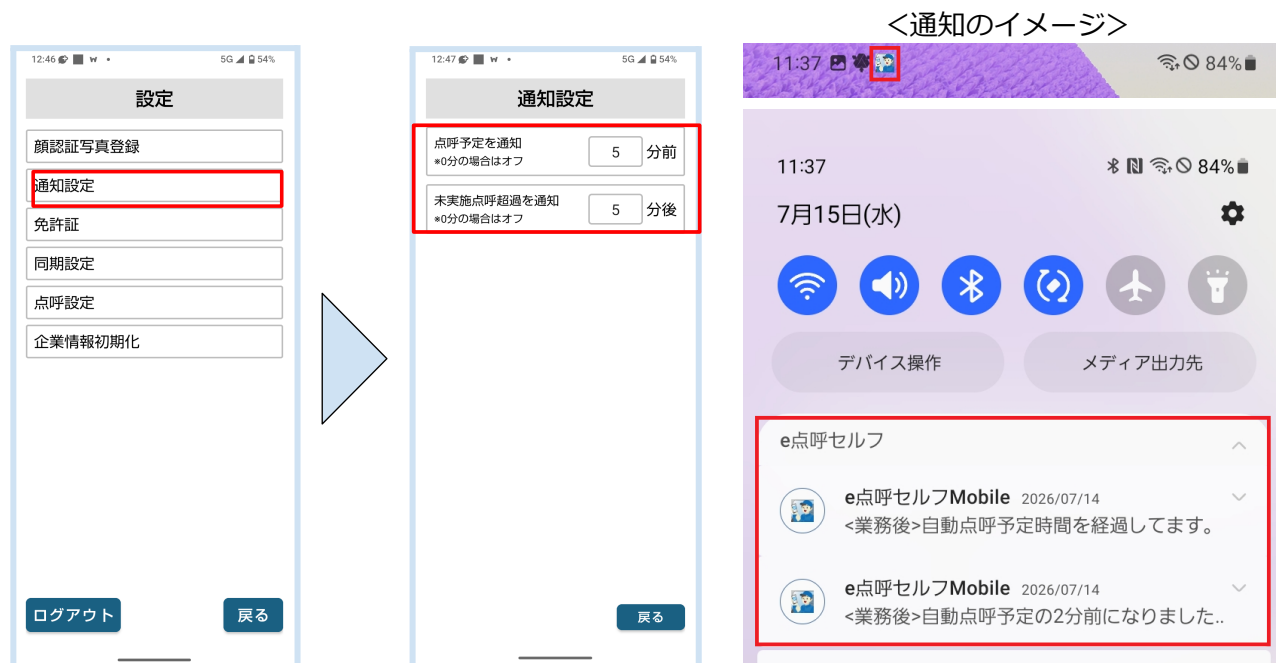
運輸安全PROの設定を即時同期反映したい場合に選択し「OK」をタップします。



通知設定

点呼予定時間の前、予定時間を過ぎても点呼未実施の場合それぞれで発する通知の時間設定ができます。通知は有効に設定している場合、e点呼セルフアプリをインストールしてログイン状態かつ対象の点呼計画を読み込んでいるスマホ端末に音とテキストで届きます。

* 初期値はどちらも5分です。



通知については、e点呼セルフTypeモバイルアプリが運輸安全PRO側で計画した点呼予定を読み込んでおく必要があります。運行管理者が点呼計画を作成後、アプリをいちども起動せず点呼計画の読み込更新が出来ていない場合は通知が動作しませんのでご注意ください。

免許証

モバイル自動点呼で免許証確認を実施する/しないの設定ができます。モバイル端末に内蔵しているNFCリーダーを使用します。

運輸安全PRO側へ免許証またはマイナ免許の情報を予め登録しておく必要があります。

※運輸安全PROからの登録方法、運輸安全Uniアプリからの登録方法（マイナ免許のみ）については別紙取扱説明書を参照ください。



○IC免許証/マイナ免許証の所持確認

設定をONにすると、最初に免許確認を行ってから自動点呼が開始されるようになります。

（上記画像はOFFの状態です）

運輸安全PRO上に登録済の運転免許証またはマイナ免許証をスマホ端末のNFCリーダー部分にかざします。有効期限を確認し、期限切れの場合は自動点呼を開始することができません。

○免許証判定

免許証の有効期限判定の閾値を設定できます。有効期限が設定した日数以下になると、確認時の表示が変わります。

- ・注意：（デフォルト値）残り60日から
- ・警告：（デフォルト値）残り30日から

○スキップ

ONにすることで、自動点呼で免許証確認画面を起動しつつも読み込みに失敗した場合等に「スキップ」の選択肢が表示され、タップすることで免許証確認をとばして次へ進むことが可能になります。

※免許証確認を必須にしたい場合は、OFFにしてください。（上記画像はONの状態です）

【チェックポイント】

免許証確認はスマートフォン端末等の取扱説明書等で、NFCリーダーのICカード読み取り位置をご確認の上、運用ください。正しい読み取り位置に免許証のIC部分が当たらないと読取失敗または時間がかかることがあります。免許情報の登録につきましては運輸安全Uniアプリより実施ください。

点呼設定

複数計画時に実施の自動点呼を選択する

設定をONにした場合、実施する点呼が点呼計画上で重複しているとき、どの点呼として実施するかを選択画面が表示されます。（※選択画面ではクラウドサービスにて実施すべき運行を自動的に判別したものは水色で表示されます。）設定をOFFにした場合、クラウドサービスにて実施すべき運行を自動的に判別して点呼します。予定日時の古い順で点呼を実施します。

翌日計画した自動点呼の前日実施を許可する

設定をOFFにした場合、点呼計画で作成した予定日時が当日のみの自動点呼の実施が可能となります。待機画面における予定の表記も当日のみとなります。本設定がOFFで、点呼計画の予定日時が当日以外の場合、エラーが表示されます。

点呼前倒し時間を制限する

点呼において、点呼計画の予定時刻より早い時刻での点呼実施を制限する場合、設定します。設定した時間内であれば点呼は実施できます。設定した時間外であれば点呼は実施できません。

業務前自動点呼で行き先確認を行う

設定をONにした場合、業務前自動点呼で行き先の確認項目が表示されます。

位置情報の確認を行う

設定がONの場合は運転者点呼場所（市区町村）をGPS取得データから自動変換して上書きします。設定がOFFの場合は位置情報取得画面が表示されなくなります。

企業情報初期化

インストール後に連動設定を行った運輸安全PROとのアクティベートを解除し、運転者ログアウトを行います。企業情報初期化後は、改めて有効な運輸安全PROの営業所アカウントQRコードを読み込ませる必要があります。



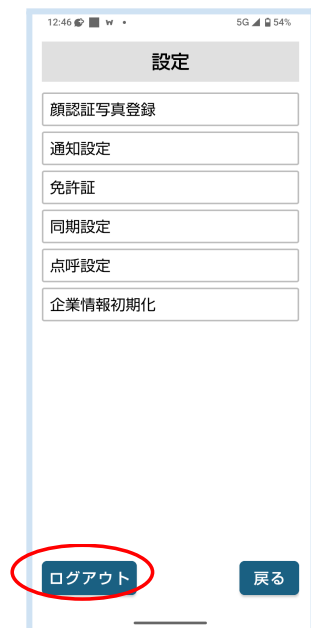
※別営業所運行の自動点呼を実施する場合は、上記の「企業情報初期化」を実施してその営業所QRでアクティベートを行っておく必要があります。

※使用するスマホ端末、アルコール検知器等の周辺デバイスは自動点呼の関連要件法令に則って自動点呼を実施する営業所で適切に管理してください。

ログアウト

アプリから従業員ログアウトをすることができます。

ログアウト時にはこれまでのe点呼セルフTypeモバイル上での点呼機歴、操作履歴、エラー履歴をログとしてCSVでダウンロードできるデータにて、クラウドシステムの運輸安全PRO上へアップします。



<チェックポイント>

アプリ側がログイン状態で、モバイル自動点呼ライセンスが無効になった場合は？

アプリ終了からアプリを閉じてから起動時、右上の更新マークをタップした先、または自動点呼を開始するタイミングでライセンスの有無をチェックし、ライセンスがない場合は自動的にログアウトします。

- ・運転者は運行出発前に、アプリの再起動や右上の更新マークをタップして自身のライセンスが有効かを確認いただく。
- ・運行管理者は、運行中の運転者のモバイル自動点呼ライセンスを勝手に無効化しない。

→このような運用ルールを定めていただくと「出先等でライセンスがなくて自動点呼ができない」等のトラブルを未然に防ぐことができます。

履歴確認を行う

故障等のエラーが発生した記録と点呼を実施した記録を履歴として確認できます。

各履歴情報をクラウドへデータ出力できます。出力されたデータは運輸安全PRO上よりCSV形式でダウンロード確認ができます。各種履歴は1年間保存されます。

点呼履歴の各行をタップするとその点呼の詳細記録が表示されます。



<点呼履歴の「実施状況」に関して>

- ・ ○ : 点呼判定○となった点呼記録です。
- ・ × : 点呼判定×となった点呼記録です。
- ・ 記録済 : 点呼記録データが正常に運輸安全PRO側へ送信されたことを表しております。
- ・ 未記録 : 点呼記録データが送信失敗、または点呼中断を表しております。

点呼履歴

点呼履歴の確認と「CSV出力」からCSVファイルを出力できます。



<運輸安全PRO側>

※運行管理者権限ログイン→設定→e点呼セルフ→モバイル自動点呼タブの従業員氏名行にあるモバイル履歴→「確認する」「点呼履歴」のダウンロードを選択。



エラー履歴を確認する

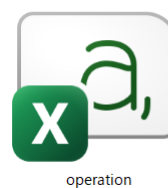
メニューより「履歴」を選択し、「エラー履歴を確認する」から確認できます。

点呼が実施できない等の故障発生日時及び故障内容をエラー履歴として確認およびCSV出力できます。「CSV出力」からCSVファイルを出力できます。出力先フォルダとファイル名が表示されます。



<運輸安全PRO側>

※運行管理者権限ログイン→設定→e点呼セルフ→モバイル自動点呼タブの従業員氏名行にあるモバイル履歴→「確認する」「点呼履歴」のダウンロードを選択。



アプリ情報を確認する

バージョン情報、利用規約、プライバシーポリシーを確認することができます。
アプリのバージョンアップは配信ストア内より実施ください。



お問い合わせ（アプリ内メニュー）

カスタマーサービス用Webサイト、お問い合わせフォーム、電話問合せ窓口を確認できます。
URLや番号をタップするとブラウザ接続、電話発信ができます。



自動点呼機能を使用する

点呼を開始する



アプリメニュー画面では

- ① 会社名
- ② 現在ログイン中の従業員名と自動点呼開始ボタン
- ③ 現在ログイン中従業員の点呼予定
- ④ 点呼履歴
- ⑤ 端末設定
- ⑥ 設定
- ⑦ お問い合わせ
- ⑧ アプリ情報
- ⑨ アプリ終了
- ⑩ 更新アイコン（タップすることで運行点呼予定の更新やライセンス有無の確認ができます）が表示されます。

「自動点呼をはじめる」をタップすることで自動点呼（免許証確認）を開始します。

<チェックポイント>

免許証確認が有効の場合は、アイコンが免許証に変化します。



自動点呼の流れ

待機画面で「自動点呼を開始する」を選択すると、自動点呼が始まります。設定で免許証所持確認をONにしている場合は免許証確認が始まります。

※健康状態の測定数値にて異常値がある場合、点呼中断や1つ前に戻ることはできません。

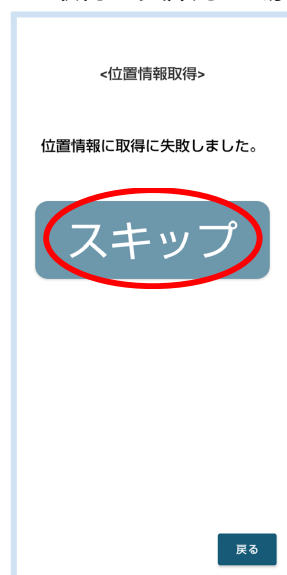
GPS取得した位置情報および天気を表示

スマートフォン端末のGPS取得機能を用いて取得したGPS情報を都道府県市区町村に変換し、天気と併せて表示します。「OK」で次に進み、「再取得」で再度GPS取得を試みます。こちらで取得した都道府県市区町村の情報は、運転者点呼場所（市区町村）に上書きされます。※GPS情報の都道府県市区町村への変換に失敗した場合は、取得失敗の旨が表示され上書きされません。

＜GPS取得および住所変換に成功した場合＞



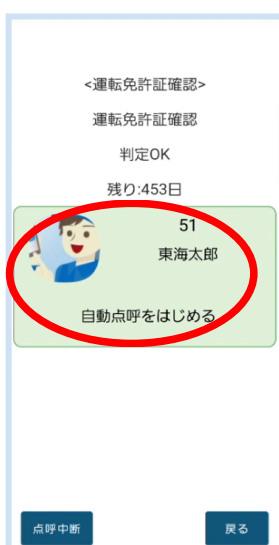
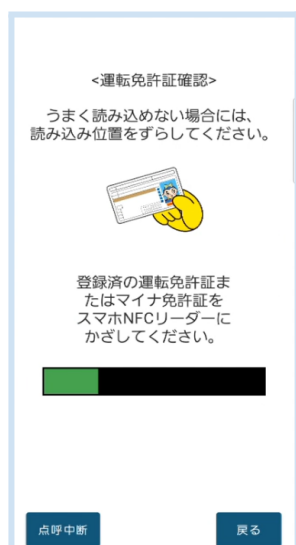
＜GPS取得に失敗した場合＞



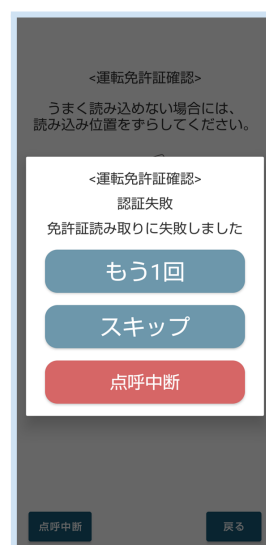
免許証確認 ※免許証確認をON設定にしている場合のみ

免許証読み取り画面が表示されます。登録済の運転免許証またはマイナ免許証をモバイル端末に内蔵されているNFCリーダー部分にかざしてください。免許証のIC情報を確認し、有効期限を判定します。読み取りが完了すると、免許証確認結果は以下のように表示されます。

＜読取成功時＞

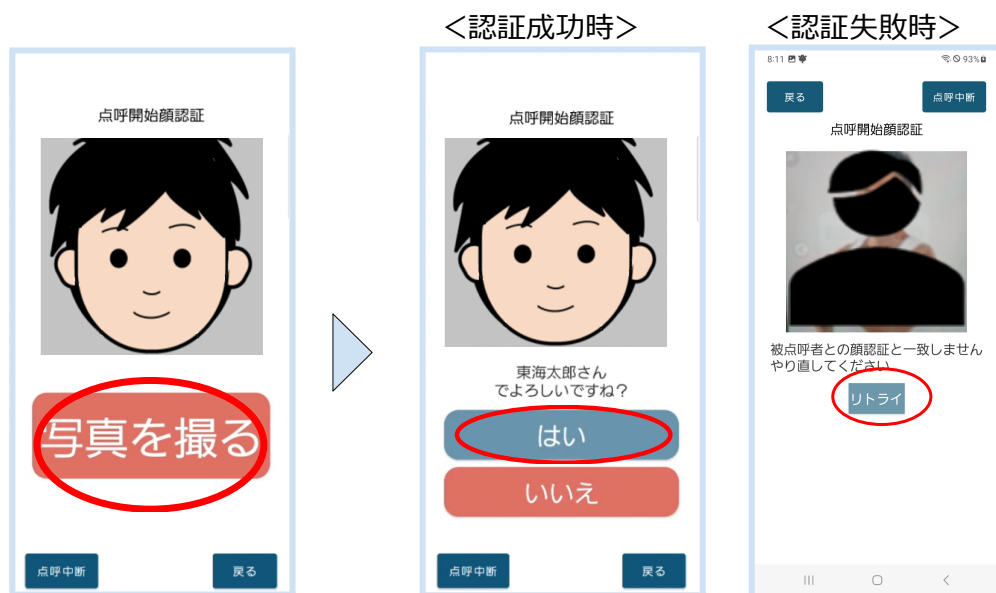


＜読取失敗時＞



ドライバー生体認証（顔認証）

点呼対象者の顔がモバイル端末のインカメラ撮影で画面に入るようにして「写真を撮る」をタップします。認証に成功した場合は氏名が表示されますので「はい」をタップします。

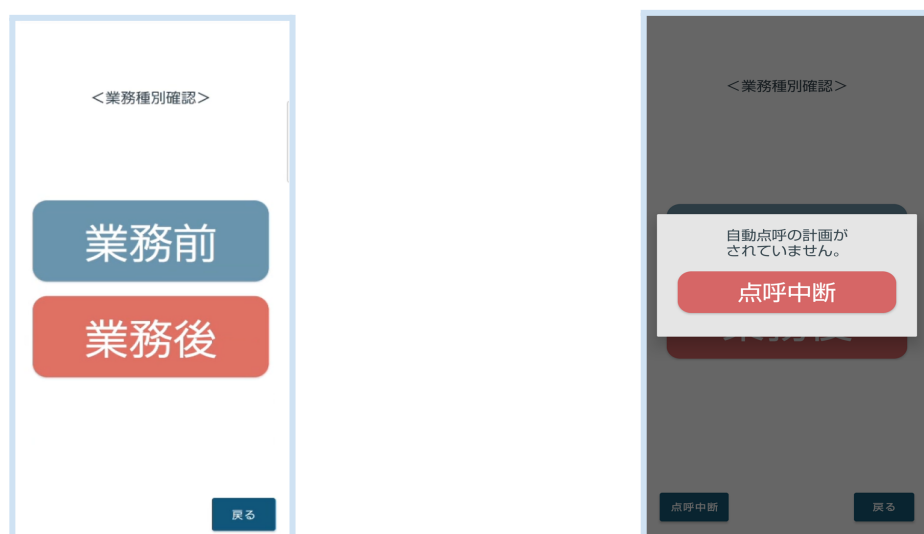


※逆行であったり、写っている顔部分が小さく登録している認証元写真の背景と大きく異なる背景が写りこんでいる場合は、うまく認証できない場合があります。

業務種別選択

実施する自動点呼の業務種別を選択してください。選択した業務種別の自動点呼計画が未作成の場合は自動点呼が実施できず、点呼計画がない旨のエラーが表示され点呼中断となります。

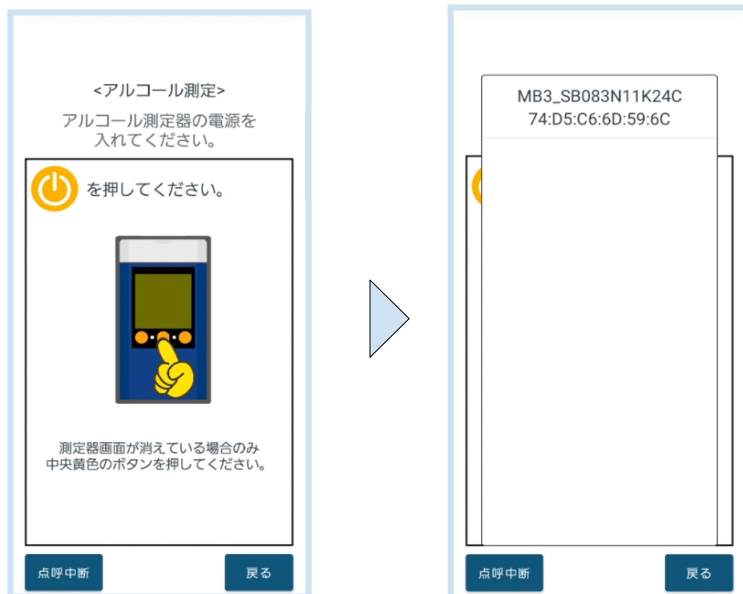
<点呼計画が確認できなかった場合>



※「業務前」を選択した際に血圧計もしくは体温計のBluetooth接続設定が完了していない場合はエラーメッセージが表示され、点呼中断となります。端末設定より設定を完了してください。

アルコール測定

- 1) 点呼項目で「アルコール測定」に入るとアルコール測定画面が表示されます。
アルコール測定器（ALC-MobileⅢ）の中央黄色のボタンを押して電源を入れてください。
※測定器本体が低温の場合、ウォームアップ起動に時間がかかる場合があります。



※周囲に電源が入り通信準備が整ったALC-MobileⅢが複数台存在する場合、その機器と接続するか一覧が表示されます。測定器裏面の英数字で記載されたシリアル番号と一致するものを選ぶとその機器と接続し、測定を始めることができます。

- 2) カメラが起動したらアルコール測定器（ALC-MobileⅢ）に息を吹き込んでください。
電子音が鳴ったら測定完了、アルコール測定結果が表示されます。



- ※アルコール検知時は、業務前自動点呼の場合は点呼保留となり運行管理者操作を経てから点呼中止となります。業務後自動点呼の場合は点呼保留を介さずに点呼中止となります。
※アルコール検知時は、測定器側の結果がアプリに反映されるまで数秒かかることがあります。
※自動点呼では、アルコール検出時に点呼NGとして記録保存されます。

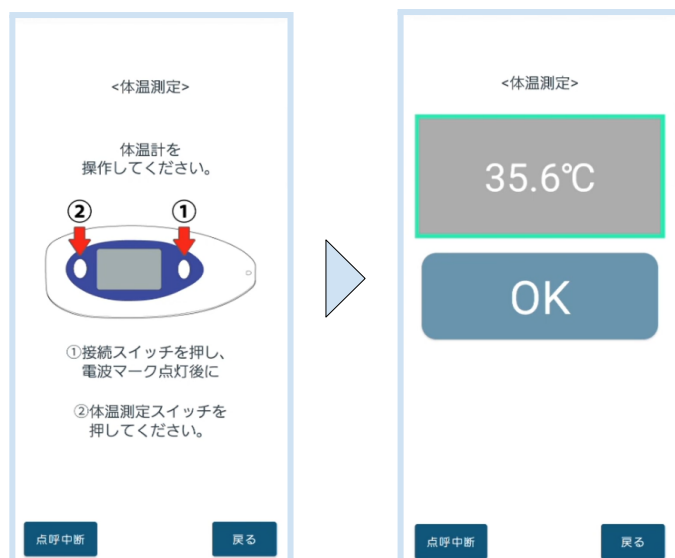
体温測定（業務前のみ）

■検温（東海電子 非接触体温計 TD-100の場合）

点呼項目「検温(東海電子 非接触体温計 TD-100の場合)」に入ると、検温画面が表示されます。
本体の接続スイッチを押下して電波マークが体温計本体に表示されたら、体温測定スイッチ（センサー側）を押下して検温してください。

※事前に自動点呼機器と体温計のペアリングを実施しておく必要があります。「端末設定」の「■体温計」を参照ください。

検温結果は以下のように表示されます。結果が表示されない場合は体温計を再操作ください。



血圧測定（業務前のみ）

■血圧

点呼項目「血圧」に入ると血圧測定画面が表示されます。

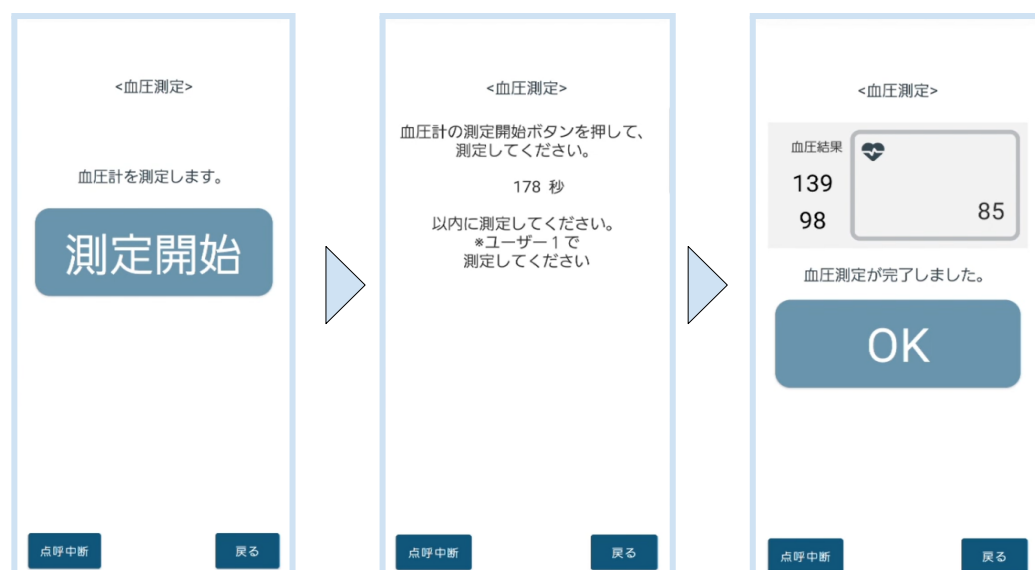
※事前に自動点呼機器と血圧計のペアリングを実施しておく必要があります。「端末設定」の「■血圧計」を参照ください。

「測定開始」を選択すると、血圧測定結果受信画面が表示されます。

この画面が表示されたら血圧計の測定開始ボタンを押下して、血圧測定を実施してください。

※HCMシリーズで測定する場合は、「ユーザー1」で測定してください。

血圧測定が完了すると、血圧測定結果が表示されます。



車番

点呼項目「車番」に入ると車番入力画面が表示されます。車番を入力してください。点呼計画時に車番が指定されている場合は、車番が表示されます。内容が正しいか確認し、必要であれば修正してください。

※クラウドサービスや別システムで日常点検を実施する場合、車番は変更しないでください。

The screenshot shows a mobile app interface for entering a vehicle number. At the top, it says '<車番確認>' (Vehicle Number Confirmation) and '車番を入力してください' (Please enter the vehicle number). Below this, the number '名古屋 401 な 2993' is displayed. A large blue button with the text 'OK' is in the center. At the bottom, there are two smaller buttons: '点呼中断' (Interrupt Call) on the left and '戻る' (Back) on the right.

疾病・疲労・睡眠不足等の確認（業務前のみ）

疾病・疲労・睡眠不足等の状況についての報告有無を選択してください。

The image shows a sequence of three confirmation screens, each with a blue circle button (Yes) and a red 'X' button (No). The first screen is titled '<疾病の確認>' (Illness Confirmation) and asks '疾病について確認です。体調は良好ですか？' (Confirmation about illness. Is your condition good?). The second screen is titled '<疲労の確認>' (Fatigue Confirmation) and asks '疲労について確認です。体調は良好ですか？' (Confirmation about fatigue. Is your condition good?). The third screen is titled '<睡眠不足の確認>' (Sleep Deprivation Confirmation) and asks '睡眠不足について確認です。しっかり睡眠は取れましたか？' (Confirmation about sleep deprivation. Did you get a good night's sleep?). Each screen has '点呼中断' (Interrupt Call) and '戻る' (Back) buttons at the bottom. Arrows indicate the flow from one screen to the next.

※いずれかひとつでも×がある場合、健康状態判定にて「疲労・疾病・睡眠不足報告」が×となり、点呼保留へ遷移します。

健康状態判定（業務前のみ）

[健康状態判定および疾病・疲労・睡眠不足等の状況にて「○」だった場合]

以下の画面が表示されます。OKをタップして次の確認項目に進んでください。

<健康状態判定>

疾病・疲労・睡眠不足報告○です。

健康状態判定 OK です。

判定結果OKです。

項目	測定値(基準値との差異)
最高血圧	121(-29)
最低血圧	84(+4)
体温	36.3(-0.9)

OK

点呼中断 戻る

[疾病・疲労・睡眠不足等の状況にて「×」だった場合]

以下の画面が表示され、点呼保留するかを選択します。

<健康状態判定>

疾病・疲労・睡眠不足報告×です。

健康状態判定 OK です。

判定結果 NG です。

点呼が保留されます。

疾病・疲労・睡眠不足の報告NG

項目	測定値(基準値との差異)
最高血圧	125(-25)
最低血圧	97(+17)
体温	36.6(-0.6)

点呼保留

キャンセル

点呼保留

<点呼保留>

点呼保留中です。

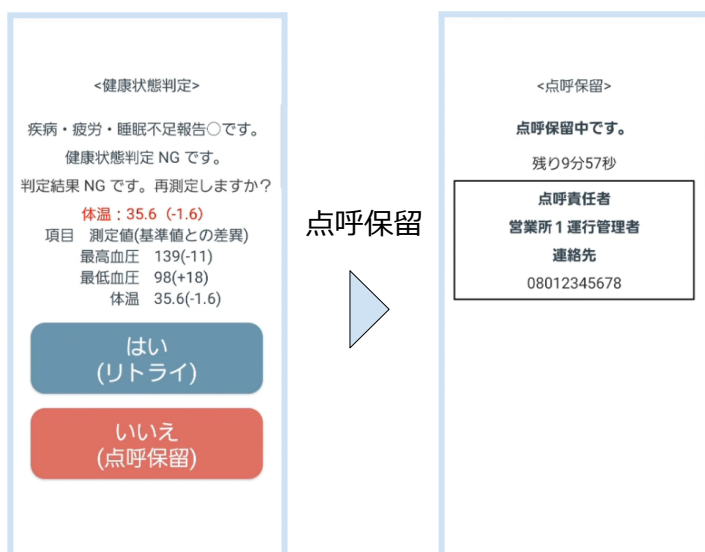
残り9分57秒

点呼責任者
営業所 1 運行管理者
連絡先
08012345678

- ・「OK（保留）」を選択した場合：点呼実施が保留されます。
 - ・「キャンセル」を選択した場合：再度、疾病・疲労・睡眠不足等の状況の入力をやり直します。
- ※健康状態判定においてNGだった場合、それ以降の画面操作において、「戻る」「点呼中断」は表示されなくなり、選択できません。

[健康状態判定でNG（体温か血圧が基準閾値外）だった場合]

以下の画面が表示され、再測定するか、点呼保留するかを選択します。

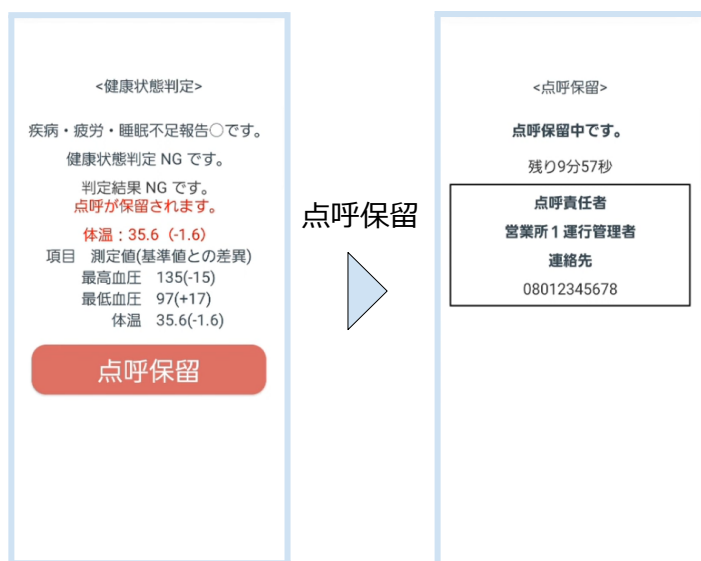


- ・「はい（リトライ）」を選択した場合：体温・血圧の測定から点呼を再度実施します。
- ・「いいえ（点呼保留）」を選択した場合：点呼実施が保留されます。

※健康状態判定においてNGだった場合、それ以降の画面操作において、「戻る」「点呼中断」は選択できません。

[リトライ後も健康状態判定でNG（体温か血圧が再測定後も基準閾値外）だった場合]

以下の画面が表示され、点呼保留をタップします。再測定での判定は1回のみ有効です。



点呼保留（業務前のみ）

業務前自動点呼では、健康状態判定でNG（体温・血圧のいずれかが基準値から一定以上乖離している）の場合、これにより健康状態判定NGでもう1回再測定しても同様の場合、もしくは疾病・疲労・睡眠不足等の状況が「×」の場合、アルコール検出時および日常点検の報告でNGの場合、実施中の点呼が保留されます。点呼保留となった場合は管理者へ通知が届き、管理者が該当点呼に対し、点呼再開・中止の判断を行う必要があります。

※判定は運行管理者がクラウドサービス「運輸安全PRO」にて実施します。

※アルコール検出時および日常点検の報告でNGの場合は点呼再開できません。

※点呼保留中は、別アプリを操作中も残り時間のカウントは進みますがアプリ画面外では点呼再開、中止、タイムアウトになっても通知はありません。必ず当アプリ画面で状況を確認してください。

[点呼保留となる場合]

以下の画面が表示され、管理者による点呼再開・中止の判断を待ちます。

＜アルコール検知時＞ ＜健康状態判定NG時＞ ※体温、血圧再測定後も閾値外の場合はリトライ不可となります。

The image shows two side-by-side screenshots of the app. The left screenshot is titled '<アルコール検出>' and shows a cartoon character with a thermometer in their mouth. Below the character, it says 'アルコール数値 0.18 mg/L' and '判定NG アルコール数値を検出しました。'. The right screenshot is titled '<健康状態判定>' and shows a message: '疾病・疲労・睡眠不足報告〇です。健康状態判定 NG です。判定結果 NG です。再測定しますか？'. Below this, it lists '体温 : 35.6 (-1.6)' and '項目 測定値(基準値との差異) 最高血圧 139(-11) 最低血圧 98(+18) 体温 35.6(-1.6)'. At the bottom, there are two buttons: 'はい (リトライ)' and 'いいえ (点呼保留)'.

＜点呼保留中の画面＞

The image shows two side-by-side screenshots of the app. The left screenshot is titled '<点呼保留>' and shows '点呼保留中です。残り9分57秒'. Below this, it lists '点呼責任者 営業所1 運行管理者' and '連絡先 08012345678'. The right screenshot is a mobile phone screen showing the same information, with the phone number '08012345678' highlighted in blue. At the bottom, there is a button 'アプリで開く' and a list of apps: '電話' and 'Zoom'.

＜日常点検結果×時＞

The image shows a screenshot of the app titled '<日常点検>'. It says '日常点検結果は「×」でよろしいでしょうか？' and '点呼保留になります。'. Below this, there are two buttons: 'はい' and 'いいえ'. At the bottom, there are two buttons: '点呼中断' and '戻る'.

点呼計画で点呼保留時連絡先が入力されている場合は電話番号が表示され、タップすることで標準搭載されている電話アプリを用いて電話をかけることができます。（操作端末が電話をかけることができない場合はタップ不可）

※電話後は、端末ホーム画面のe点呼セルフTypeモバイルアプリアイコンをタップしてこの画面に戻ってきてください。

保留後10分間、管理者による点呼再開・中止の判断が無かった場合は、自動的に点呼中止となります。点呼保留中にアプリを強制終了させたりスマートフォン端末の電源を切らないでください。

点呼保留からの再開・中止

[点呼保留後、管理者による点呼再開の判断があった場合]

管理者による点呼再開の判断があった場合、以下の画面が表示されます。



ここで「顔認証して再開する」ボタンを押下すると、ドライバーの顔認証が行われ、点呼が再開されます。

[点呼保留後、管理者による点呼中止の判断があった場合]

管理者による点呼中止の判断があった場合、以下の画面が表示されます。



ここで「OK」ボタンを押下すると、点呼が中止され、自動的に点呼結果（点呼NG）がクラウドサービスへアップロード（記録保存）されます。

※業務前自動点呼では、アルコール検出時や日常点検の報告でNGの場合も点呼中止になります。

タイムアウトによる点呼中断・点呼中止

[タイムアウトによる点呼中断・中止について]

自動点呼の場合、開始から累計で10分が経過すると操作途中でも点呼が中断されます。

（タイムアウト）

点呼中断の場合は当該点呼計画は残りますので、改めて自動点呼を実施してください。

業務前自動点呼で血圧や体温の基準閾値外で健康状態判定NGとなった場合以降にタイムアウト等が生じた際は点呼中止となります。当該点呼は点呼判定×として記録されるため、改めて実施するには当該運転者の自動点呼計画を再度作成する必要があります。

日常点検の状況（業務前のみ）

日常点検の状況について○×を選択してください。

×の場合は確認画面に遷移し、点呼保留となります。その後、運行管理者が確認、中止理由の入力操作を経て点呼中止となります。

＜車両台帳と連携していない場合＞

<日常点検の状況>
日常点検の結果を入力してください。

○

×

点呼中断

＜車両台帳と連携設定済かつ日常点検済の場合＞

<日常点検の状況>
日常点検アプリでの結果はOKでした。
日常点検の結果を入力してください。

○

×

点呼中断

運輸安全PRO上の設定より「車番入力（点呼計画）」の「車両台帳と連携する」が有効かつ当該点呼で入力した車番の日常点検が運輸安全Uniアプリ上で完了している場合、その結果がテキストで表示されます。（OK / NG）

【日常点検の状況で×を選択した場合】

日常点検の結果に問題があり、×を選択した場合は確認画面を経て点呼保留に遷移します。

※確認画面では「いいえ」を選択すると直前に戻ることができます。



日常点検の結果×で点呼保留となった場合は、点呼再開することはできません。

通知を受けた運行管理者が、システム上に代替措置の入力を完了するか保留から10分以上が経過すると点呼中止となります。この場合、点呼結果に判定×として記録がされます。

指示事項（業務前のみ）

点呼計画作成時に運行管理者が予め入力した運行に関する指示事項を確認します。

The diagram illustrates a two-step process. On the left, a screen displays the title '<指示事項>' and the text '安全運転に努めてください'. A blue arrow points to the right, where a second screen is shown. This second screen also displays the title '<指示事項>' and the text '安全運転に努めてください', but it features a large blue button with the text 'OK' in the center.

内容の表示と、音声案内が完了すると「OK」が表示されタップで次へ進めます。

自動車・道路及び運行の状況（業務後のみ）

The screenshot shows a screen with the title '<自動車・道路および運行の状況>'. Below the title is the question '自動車・道路および運行の状況について報告はありますか？'. There are two large buttons: a blue one labeled 'なし' (None) and a red one labeled 'あり' (Yes). At the bottom, there are two smaller buttons: '点呼中断' (End Roll Call) on the left and '戻る' (Back) on the right.

自動車、道路、運行の状況で報告事項がある場合は「あり」を選択してその内容を入力します。

交替運転手への連絡（業務後のみ）

The screenshot shows a screen with the title '<交代運転手に対する連絡>'. Below the title is the question '交替運転手に対する連絡はありますか？'. There are two large buttons: a blue one labeled 'なし' (None) and a red one labeled 'あり' (Yes). At the bottom, there are two smaller buttons: '点呼中断' (End Roll Call) on the left and '戻る' (Back) on the right.

交替運転者が存在し、連絡した内容がある場合は「あり」を選択してその内容を入力します。

その他確認事項 1

その他必要な事項（運転者→運行管理者）の報告有無をドライバーが選択してください。
報告がある場合は、「あり」を選択してさらにその内容を入力してください。



<その他必要な事項>
その他必要な事項 1
(運転者⇒管理者)

なし

あり

行き先確認（業務前のみ/設定有効時のみ）

行き先確認を設定でONにしている場合、業務前自動点呼の場合は行き先確認へ遷移します。
回答空欄でも先に進めることができます。

※「行き先」を入力して点呼完了した場合、その内容は点呼記録の「その他必要な事項」「備考」に記録されます。



行き先入力
行き先を教えてください

OK

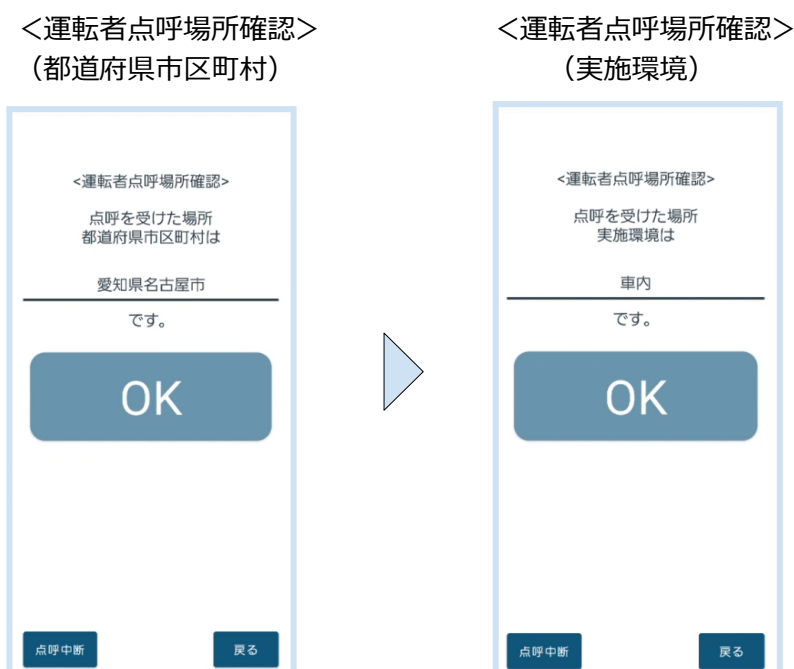
運転者点呼場所

○都道府県市区町村

被点呼者が自動点呼を実施している場所（都道府県市区町村）を確認、記録します。点呼計画にて運行管理者によって入力済の値がある場合はその情報が表示されますが、GPS取得を有効にしている場合、取得に成功して市区町村に変換が成功した場合はGPS取得した位置情報に上書きがされます。被点呼者によって入力することも可能です。未入力、空欄の場合は次の項目へ進めません。

○実施環境

被点呼者が自動点呼を実施している場所（宿泊施設や車内等の実施環境）を確認、記録します。点呼計画にて運行管理者によって入力済の値がある場合はその情報が表示されます。内容を確認し、「OK」をタップしてください。被点呼者によって入力することも可能です。未入力、空欄の場合は次の項目へ進めません。



その他確認事項2

その他必要な事項2（運行管理者→運転者）の場合、運行管理者が点呼計画時に設定した内容が表示されます。内容の表示と、音声案内が完了すると「OK」が表示されタップで次へ進めます。



点呼完了と点呼記録データ送信

点呼が完了した旨の音声案内が流れます。確認のため「OK」をタップしてください。

※「OK」をタップしなかった場合も一定時間を経過すると自動でデータ送信へ移行します。

データアップが正常に完了し、メニュー画面に戻るまでを必ず確認ください。

<業務前・業務後点呼完了画面>



<データアップ完了後にメニュー画面へ>



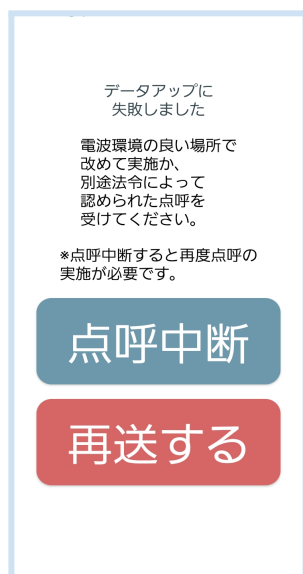
データアップ中待機画面

<チェックポイント>

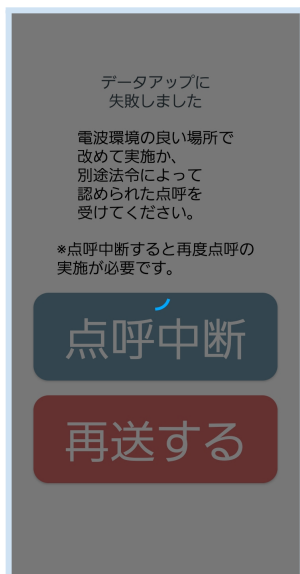
データアップに失敗した場合は「点呼中断」選択前であれば「再送する」をタップすることで何度でも点呼記録データの再送信を試みることができます。

「再送する」でデータの再送信を試みている際は、画面が暗転します。再送信でもデータアップに失敗した場合は、再度「データアップに失敗しました」画面に戻ってきます。点呼開始から10分が経過するとタイムアウトになってしまうため、時間内に電波が良く安全な環境にて再送を試みてください。点呼中断の場合は電波の良い場所で改めて点呼をやり直すか、別途法令で定められた点呼を受けて頂く必要があります。

<データアップ失敗>



<「再送する」選択時>



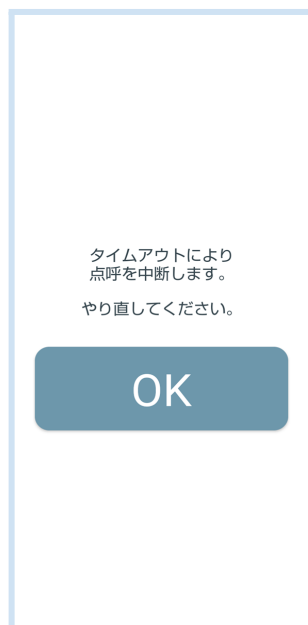
タイムアウトによる点呼中断・点呼中止

[タイムアウトによる点呼中断・中止について]

自動点呼の場合、開始から累計で10分が経過すると操作途中でも点呼が中断されます。

(タイムアウト)

点呼中断の場合は当該点呼計画は残りますので、改めて自動点呼を実施してください。



業務前自動点呼で血圧や体温の基準閾値外で健康状態判定NGとなった場合以降にタイムアウトが生じた際は点呼中止となります。当該点呼は点呼判定×として記録されるため、改めて実施するには当該運転者の自動点呼計画を再度作成する必要があります。

困ったときは

トラブルFAQ

	トラブル内容	解決方法
1	ログイン済なのに自動点呼を開始したら「ライセンスがありません」と表示された。	ログイン後にモバイル自動点呼ライセンスを無効に設定された可能性があります。運輸安全PROのモバイル自動点呼ライセンスの設定状況を確認ください。
2	運転者が別営業所に異動になってからログインができなくなりました。	従来と異なる営業所にて運用する場合はその営業所のアクティベートコードを読み込ませる必要があります。点呼設定より企業情報初期化を実施し、再アクティベートしてください。
3	血圧計、体温計が端末設定のBluetooth接続でデバイス名が表示されない。	スマホ端末側を再起動してください。血圧計、体温計の電池、バッテリー残量が少ない場合は充電、電池交換したうえでお試しください。
4	免許証、マイナ免許証がうまく読み込めない。	ご使用の端末ごとにNFCリーダーでの読取位置が異なります。端末の取扱説明書でNFCリーダーの読取位置を確認し、正しい読取位置に免許証、マイナ免許証をかざしてください。
5	顔認証がうまく認識しない。	認証元写真を3枚まで登録ください。認証元写真が逆光等で顔が識別できないようになっていないか確認ください。認証元写真は顔が大きく写るよう、カメラに近づけて撮影登録ください。また自身の従業員番号とは別番号にも認証元写真を登録している場合はそちらを削除してください。
6	業務種別を選択すると「自動点呼の計画が表示されていません。」エラーが出て点呼中断になる。	点呼方法「自動点呼」での有効な点呼計画が未作成のため、運行管理者に自動点呼での点呼計画を作成してもらうよう相談ください。
7	日付を超えたら業務後自動点呼の計画が消えて実施できなくなりました。	業務前点呼が運輸安全PROの記録にないまま翌日になると紐づく業務後点呼も未実施扱いとなります。運輸安全PRO上に記録されるシステムにて業務前点呼を実施するか、点呼計画より予め当該業務前点呼計画に「スキップ」操作をしてください。
8	アルコール測定開始時にALC-MobileⅢのデバイス名選択ができず、別のALC-MobileⅢと接続してしまう。	その時点で電源が入って接続準備が整っているALC-MobileⅢを検出するため、接続したいALC-MobileⅢの電源を早めに入れておくことでデバイス名選択に表示されます。
9	血圧計、体温計の測定結果記録がアプリ側に入っていない。	スマホ端末を再起動の上、端末設定よりそれぞれのBluetooth接続を再度実施ください。
10	点呼中止になった後に再度自動点呼を実施しようとしたら「自動点呼の計画が表示されていません。」エラーが出て点呼中断になる。	点呼中止とは当該点呼結果を判定×で保存するため、予定していた点呼計画は実施済扱いとなります。改めて実施したい場合は再度点呼計画を作成する必要があります。
11	アプリ内の点呼設定が勝手に変わってしまう。	同期設定が有効になっているため運輸安全PRO側の設定を変更するか同期設定より「自動（アプリ起動時）」を無効にしてください。

e点呼セルフTypeモバイルに関するFAQは、弊社HP「運輸安全サポート」にも随時更新しております。

東海電子株式会社



運輸安全サポート

<https://support.tokai-denshi.co.jp/>

上記アドレスを直接入力

または、web検索エンジンにて「運輸安全サポート」で検索ください。

その他製品に関するお問い合わせはこちら

東海電子株式会社 運輸安全PRO専用フリーダイヤル



0120-984-228

お問合せフォーム：https://lpfo.tokai-denshi.co.jp/inquiry_CS

受付時間：平日9:00~17:00

※土曜日、日曜日、祝祭日、及び当社が定める年末年始、
夏季休暇は休業させていただきます。



本社 〒419-0201 静岡県富士市厚原 247-15
<http://www.tokai-denshi.co.jp>

製品に関するお問い合わせ

サポートセンター
〒190-0012 東京都立川市曙町2-34-13
オリンピック第3ビル 203号室
TEL : 0120-984-228

お問合せWebフォーム : https://lpfo.tokai-denshi.co.jp/inquiry_CS

Printed in Japan 202609(1)